

議員提案説明

下川議員 それでは、議長の許可をいただきましたので、議案第31号の提案理由の説明をさせていただきます。尚、賛成者には、枳富議員、檜谷議員、両議員の賛同をいただいております。条例案の趣旨説明をさせていただきます。地方経済の構造的不況は、増々厳しさを増し、長い暗闇のトンネルに入ったままの状態です。いつまで経っても明るさが見えてこない。貧すれば鈍するの言葉のように悪い時には、尚、悪いように若者は職を求めて都市へと流出し、過疎化を助長し、近年では年間100人近くの人口が減少し、6月1日現在では5,071人となり、次期議会の改選時には4,000人代になると予想されております。有権者数も19年4月から3年間に6月1日現在で371人減となり、23年度の改選時には400人以上の減少と思われれます。近年牟岐町の財政を見ても経常経費を占める人件費の割合も高く、経常経費比率を押し上げているように思われれます。まず、議会が身を削って経費削減を図り、行政に人件費の削減を求めなければならないと思われれます。尚、6月1日現在5,071人を10名の議員に換算すると、一人の議員に対する人数は507人で、参考までに海陽町は、11,160人で14名の議員で割ると一人の議員に725名となるかと思われれます。かなりの差が出ていることが明白であります。ここで2名の議員削減をし、8名の定数を提案といたします。ご審議のほどよろしくお願いいいたします。